

2025 年 7 月 2 日

各位

株式会社万代

「みんなで減 CO2（ゲンコツ）プロジェクト 2025」を開始 ～エコラベルを探して、脱炭素に配慮した購買行動を考える～

株式会社万代（代表取締役社長：阿部秀行、以下「万代」）は、生活者の脱炭素への意識・行動変容を促すことで企業の脱炭素の取り組みを加速させ、脱炭素社会を構築することを目指す「チャレンジ・カーボンニュートラル・コンソーシアム（Challenge Carbon Neutral Consortium）」（以下「CCNC」）[（注 1）](#)に 2023 年から参画しています。

万代を含む小売流通やメーカーなど 15 社で構成する CCNC は、「教育啓発」と「販促購買」に一気通貫で取り組むことで生活者の脱炭素行動変容を促す「みんなで減 CO2（ゲンコツ）プロジェクト 2025」（以下「本プロジェクト」）の活動を開始しましたので、お知らせします。

■本プロジェクトの概要

本プロジェクトを主催する株式会社日本総合研究所（本社：東京都品川区、代表取締役社長：内川淳、以下「日本総研」）が連携する 2 府 2 県 1 政令市（大阪府、兵庫県、奈良県、京都府、横浜市）と協力し、同自治体内の全小学校等に通う 4～6 年生約 53 万人 と、その保護者を中心とした生活者に対して、「教育啓発」と「販促購買」に一気通貫で取り組むことで脱炭素行動変容を促します。

注力施策の一つとして、エコラベルやカーボンフットプリント（以下「CFP」）について学べる学習キット&自由研究コンテスト「エコラベルハンター2025」を実施し、児童が家庭や店舗でのエコラベル・CFP の探索を通じて、楽しみながら環境配慮商品について学ぶ機会をつくります。これに伴い、7 月 2 日に「エコラベルハンター2025」特設ウェブサイトを開きました。

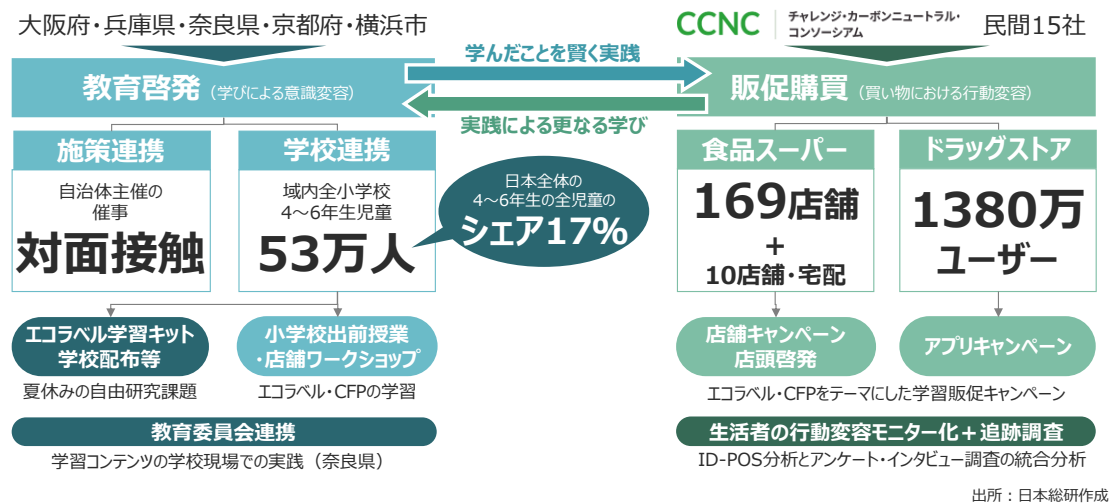
「エコラベルハンター2025」特設ウェブサイト

<https://www.greenmarketing-lab.com/genco2/event/2025ecolabel/index.html>

特設ウェブサイトでは、児童たちが見つけたエコラベル・CFP を記録し、自身の探索成果として可視化できます。そして、夏休みの自由研究課題としてより多くのエコラベル・CFP を見つけた児童を自治体別に表彰する応募コンテストの開催を通じて、脱炭素学習を促します。

また、「エコラベルハンター2025」の取り組みと連動する形で、CCNC の参画企業が協力して CFP 算定商品やエコラベル表示商品を対象としたキャンペーンも展開します。具体的には、万代の全 169 店舗でのマストバイキャンペーンと、株式会社スギ薬局が運営する「スギ薬局アプリ」を用いたクイズキャンペーンを実施します。学習キットなどで学んだことを日常的に実践できる場を用意することで、生活者の脱炭素対応商品を「目利き」できる力を養い、購買行動の定着を図ります。

図表 本プロジェクトの全体像



■ 万代の役割

本プロジェクトでは、万代は全 169 店舗（※）にて 2025 年 8 月 1 日から 8 月 31 日の 1 か月間、ラストバイキャンペーン「第 2 回 万代ゲンコツキャンペーン」を展開し、CFP やエコラベルについての普及啓発を図ります。

CCNC 参加企業とともに、これらの活動を通じて脱炭素対応の「目利き」ができる生活者を増やしていくこと、また、その購買行動を通じて、自律的な脱炭素対応商品の市場構築を目指します。

その他にも、万代では独自にサステナブル活動「YORIsoi」を展開しています。脱炭素につながる取り組みとして、例えば、物流センターの屋根や空調機の室外機に遮熱塗装を施し、空調による電力使用量の削減、一部店舗に太陽光パネルを設置し、発電分を店舗内で再利用等があります。

※大阪府 114 店舗、兵庫県 29 店舗、京都府 10 店舗、奈良県 14 店舗、和歌山県 1 店舗、三重県 1 店舗

（注 1）参画企業の一覧や活動内容の詳細は下記 URL をご覧ください。

チャレンジ・カーボンニュートラル・コンソーシアム特設ウェブサイト

<https://www.greenmarketing-lab.com/ccnc/index.html>

以上

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社万代 広報 IR 室 TEL : 06-6789-0511

大阪府東大阪市長堂 3 丁目 4-24 万代 RH ビル 6 階